

公約の達成度は
雇用と定住者の確保策は
通所介護施設の減少に対しては
観光の活性化は成るか
グリーン期の誘客対策は
水資源を保全する条例整備は
文化の象徴・図書館施設の充実は
臨財債に過度に依存していないか

はろば
白馬
議会だより
100号

平成24年 4月27日発行

1 平成24年第1回定例会

3 このような審議がありました

10 議決結果

20 私の思い出

21 特集 白馬議会だより100号記念

25 わたしのひとこと



ご入学おめでとうございます (白馬南小学校) 4月4日

平成24年 第1回定例会

3月6日から19日まで 開催

00万円を可決

- * 報告……………1件
- * 条例の制定……………1件
- * 条例の一部改正……………6件
- * 一般会計・特別会計・水道事業会計の補正予算……………7件
- * 一般会計・特別会計・水道事業会計の当初予算……………6件
- * 意見書提出の発議……………2件
- * 同意案件……………1件
- * その他の議案……………7件
- * 一般質問……………8人

本会議での質疑

●グリーンスポーツ、夢白馬施設、山小屋の指定管理者の指定について

問 (太田 修) 3施設を一括して公募した意図は、(横川観光農政課長) 複数の施設を指定するこ

とは、同一形態の事業の場合には合理性の観点から可能であり、3施設とも観光での関連性があります。

●平成23年度一般会計補正予算(第5号)

問 (篠崎久美子) 賦課徴収事業の補償補填及び賠償金の471万円の内容は、(横澤税務課長) 固定資産税の家屋の誤課税を

賠償するもので、家屋の減失把握漏れ3件分です。

問 (篠崎) スノーハーブ維持管理事業の2215万円の減額の理由と内容は、

答 (平林スポーツ課長) 当初4708万円で2号橋の永久橋への全面改修と、4か所のコース改修を予定していたが、既存の橋台がそのまま使用できることが判明したための減額と入札差金によ

り減額となります。

問 (篠崎) 障害者福祉費の地域生活支援事業の地域活動支援センター400万円の減額の内容は、

答 (倉科住民福祉課長) 平成22年5月に就労継続支援B型作業所が白馬村に開設して、同センター利用者がその施設に移り、利用数と期間が減ったためです。



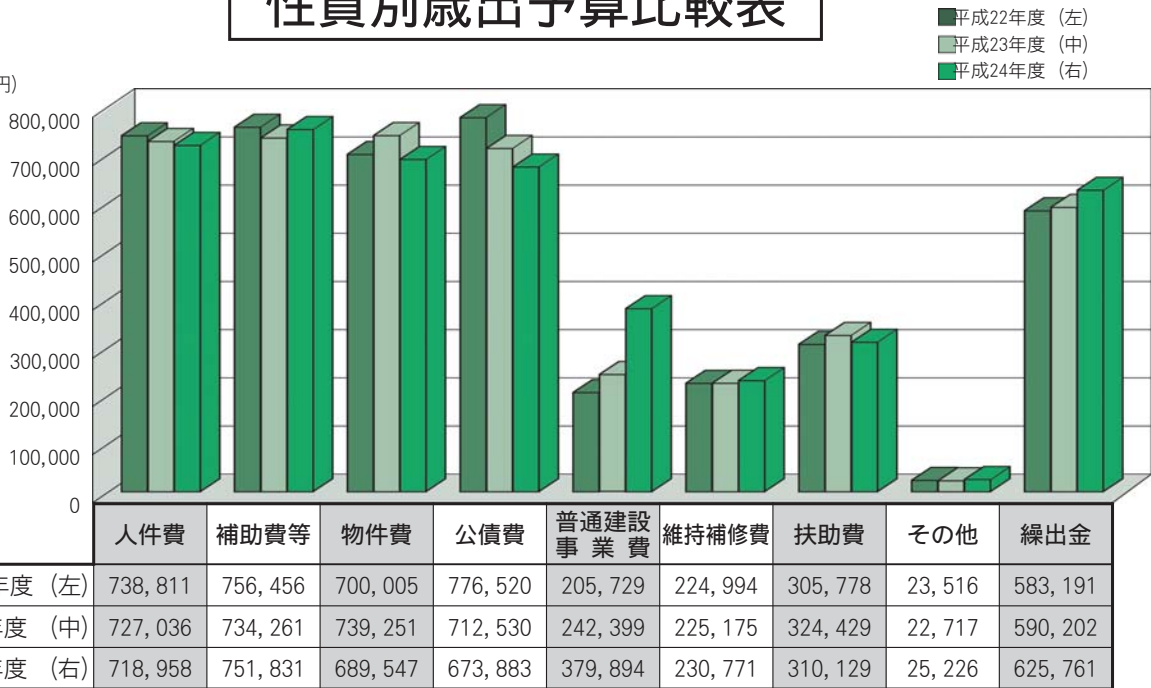
98長野オリンピックの資産 空からの白马ジャンプ競技場 4月25日

平成24年度 一般会計予算

44億6000万円

性質別歳出予算比較表

(単位：千円)



※「その他」—— 災害復旧費・積立金・投資及び出資金・貸付金・予備費

●平成23年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)

問 (太田 修) 企業債の借り換え件数の効果と見込みは。

答 (太田建設水道課長) 借り換え起債は1件で、金利は6・6%。今回予定している利率は0・55%なので、年間の利子の差額が約70万円、9年間の償還で630万円の効果となります。

●平成24年度一般会計予算

問 (太田 修) 長野県観光施設事業として借り入れた債務に対する、山小屋施設改修事業分の元利償還金2200万円の内容、同じく白馬尻荘基礎解体撤去、登山道整備事業分元利償還金2495万円の内容は。

答 (横川観光農政課長) 山小屋改修事業は、頂上宿舎と八方池山荘の地下タンクの油漏れ対策工事、頂上宿舎と天狗山荘の発電機の交換工事、猿倉荘の改修です。白馬尻荘基礎解体撤去事業と登山道整備事業は、環境省や林野

庁との協議により、コンクリート基礎を解体撤去し原状復帰するもので費用は2400万円弱、登山道整備は大雪渓下から長走りまでの間の路面整備をするものです。

問 (篠崎スノーハープ維持管理事業で設計監理委託料757万円、施設改修工事費4250万円、備品購入費で869万円の内容は。

答 (平林スポーツ課長) メイン会場北側の1号木橋の全面改修を予定。備品購入費は、コースの整備や除雪用のホイールローダー617万円、スノーモービル136万円、軽トラック105万円など。

問 (篠崎久美子) 財源は、新たな辺地対策総合整備計画の辺地債か。

答 (平林スポーツ課長) そのとおりです。

ととの協議により、コンクリート基礎を解体撤去し原状復帰するもので費用は2400万円弱、登山道整備は大雪渓下から長走りまでの間の路面整備をするものです。

ととの協議により、コンクリート基礎を解体撤去し原状復帰するもので費用は2400万円弱、登山道整備は大雪渓下から長走りまでの間の路面整備をするものです。

この よう な 審 議 が あ り ま し た

予算特別委員会

● 一般会計予算

B & Gプール改修に 8500万円

歳入歳出予算総額を、それぞれ4億600万円とするもので、前年比8800万円、2%の増。

歳入では村税が13億400万円、前年比4.6%の減。地方交付税が16億500万円、前年比6.6%の増。村債は4億8600万円、前年比19.8%の増など。
歳出では、普通建設事業が3億7900万円、前年比56.7%の増。補助費等が7億5200万円、前年比2.4%の増。公債費は6億7400万円、前年比5.4%の減など。

総務課

地域公共交通会議の補助金終了に伴い、負担金の支出は2200万円の減額。姉妹都市提携30周年となる河津町との記念事業に200万円。

基幹系システム、戸籍システムのサーバーを大北管内市町村で共有化したことにより1900万円の経費を節減。消防費は小型ポンプ付積載車1台更新に600万円、北アルプス広域連合負担金300万円増など。

問 消防費で消火栓の負担と設置工事費の関係は

答 消火栓の管理は水道事業に委託しているため、

水道事業会計に150万円を支出し、各地区からの要望により優先順位を決めて設置している。補助率は5分の4で40万円が上限で、3基分120万円を計上しています。

問 ケーブルテレビ白馬管理運営事業とは具体的に

に何か。

答 電柱添架使用料は54万4千円で契約者は村であるので、村が中部電力とNTTへ支払い、後からケーブルテレビ白馬が村へ支払うかたちとなります。

問 職員の県への研修派遣とは何か。

答 地方税滞納整理機構に1名、観光部に1名を派遣。期間はそれぞれ2年と1年です。

問 姉妹都市提携事業河津町との30周年事業とは何か。

答 イベントを行うが詳細は未定。河津町訪問の村民ツアーを予定しています。

建設水道課関係

平成23年度策定の橋梁長寿命化計画により、平成24年度は楠川橋等の修繕工費が2800万円。また村道改良起債事業に7800万円。

問 橋梁の長寿命化計画とは。

答 国の施策であり、橋梁を全部点検し点数化したうえで、点数の高い順に緊急性の高いものは5年以内に修繕し、その他は10年から15年で実施。5年に1回点検しないと国の補助が受けられせん。

問 地域役員懇談会で出された道路改良の要望事項は。

答 独自の選定基準を設けて点数化し、点数の高いものから緊急性、優先度を評価して実施。9路線の整備を予定しています。

問 道路照明灯の費用は。

答 内山、佐野、沢渡、三日市場地区の通学路の街灯をLED化することで経常経費の節減を図ります。

環境課

清掃費が前年比2100万円の増。これは白馬山麓施設組合負担金の増によるもので、クリーンコスモ姫川の設備補強工事のため。地球温暖化対策で太陽光発電装置の設置に対する補助金が120万円。

問 太陽光発電の補助金とは。

答 国が出資する財団からの補助金1キロワットの4万8千円に上乗せして1キロワット3万円、上限12万円を補助。

問 廃屋対策の補助金とは。

答 規格により3段階あり、100㎡未満20万円、100㎡〜200㎡未満40万円、200㎡以上80万円、1件あたり上限80万円。

税務課

賦課収納業務電算委託料が1131万3千円で、固定資

産税の評価替えへの対応。また長野県地方税滞納整理機構負担金は337万円。

問 地方税滞納整理機構への移管状況は。

答 23年度は20件を移管。24年度も20件を予定しています。移管の予定通知は、機構から移管件数の5倍から10倍出すように要請されていて、昨年は50件、今回は113件です。徴収額は1月末で3千万円を超えています。

問 外国人が所有する建物が増えているが、固定資産税の徴収状況は。

答 徴収率は低下している。現年分では約60%で一般と同程度。滞納額は300万円弱。

住民福祉課

乗合タクシー運行事業に1337万6千円。子どものための手当は制度改正により1億5100万円を改正前と比較して2600万円の減。介護保険、国民健康保険及び後期高齢者医療への繰出は総額2700万円の増。心身障害



完成が待たれるB&Gプール 4月25日

者福祉事業は1300万円増。保健衛生費は3900万円の減。

問 乗合タクシー運行事業の状況は。

答 23年度までは地域公共交通会議が補助金を受け、白馬村が運行受託して実施していたが、補助金がなく

なったため村が独自に実施します。当面運行形態は変わらないが、今後についてはアンケート等でデータを集め、検討します。

問 雪害救助員派遣事業の状況は。

答 賃金134万4千円を計上。村は時給140

0円の支払。県からは1日1万1千円の2分の1で、計66万円の補助があります。

問 保健福祉事業相談員の開所日数と資格は。

答 小学校、中学校、保育園、幼稚園はそれぞれ週1回、子育て支援ルームは月1回開いていて、相談員は教員経験がある方をお願いし、一般の方が対象のときは、ふれあいセンターで月1回相談日を設けています。

観光農政課

奈良井地区の有効利用のための用地取得費が3000万円。小水力発電は県営事業として施工され、本年度は設計等を行うため県営事業負担金が1000万円。村内経済活性化策として住宅リフォーム補助事業に1500万円。現年度に予算計上はないが、債務負担行為として白馬尻荘基礎撤去と登山道整備、白馬岳頂上宿舎ほかの改修を長野県観光協会事業として実施する計画です。事業は24年度に県観光協会が行ない、白馬村は

その事業費について平成25年度から9年間支出します。

【観光局負担金について】

観光局負担金は7800万円、算出根拠として観光局人件費相当分2959万円、分担金相当額(会費見込み額)3200万円、その他総務管理費等で1316万円、特枠分として325万円です。

問 奈良井有効利用整備事業の内容は。

答 用地取得の単価は未定ですが半分を想定した予算を計上し、単価決定後に予算の範囲内で買収します。25年度は残りを買収の予定で

問 平川地区小水力発電事業の内容と事業費は。

答 再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を利用。長野県の土地改良施設エネルギー活用モデル事業に採択され、国庫補助50%、県費補助35%、地元負担金15%で平成24年度から26年度の事業。基本的には売電事業です。

教育委員会 教育課

主なものは、義務教育施設整備基金を財源として、小中学校の規模修繕を計画的に実施する学校環境整備事業に2000万円。保健体育費ではプールの改修に8500万円。社会教育費では伝統的建造物群保存事業に1400万円、2件の修復を計画しています。

問 南小と共同調理場に520万円をかけて修繕した。南小も20年以上経過している。新しい共同調理場を建設する考えはないか。

答 今後、検討していきます。

教育委員会 スポーツ課

スノーハープの木橋改修等に5800万円。ジャンプ競技場の施設改修に500万円が主なもの。

問 スノーハープの木橋改修の内容は。

答 ボックスカルパート工法で施工します。圧雪

車が通るため幅が9メートル必要です。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●国民健康保険事業動定特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、12億3158万5千円とするも



2018冬季オリンピック・アルペン会場の韓国チョンソンゴン議会在来庁 4月25日

ので、前年度と比較して8270万4千円、7・2%の増で、保険給付費と後期高齢者支援金の伸びが大きかったことによる。

主な内容は、歳入では国保税が2億8222万円、国庫

支出金が3億2399万9千円。一般会計保険基金安定繰入金が5800万円。基金繰入(収支不足分)が5276万4千円など。歳出では保険給付費が7億8224万7千円。後期高齢者支援金1億7416万5千円。共同事業拠

出金に1億4110万3千円など。

問 保険税の改定の見通しは。

答 25年度は改定せずに済む見通し。24年度は基金が5000万円あるが、1年で使い果たすことになるので、いずれ税率の改定を検討する時期がくると思います。

問 特定健診の受診率は。

答 年々下がって47.48%です。

問 出産育児一時金の内容は。

答 一人あたり42万円の補助をしています。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、6793万7000円とするもので、前年度と比較して268万4000円、4・1%の増。

主な内容は、歳入では保険料が4863万5000円。

保健基金安定繰入金1801万5000円など。歳出では後期高齢者医療広域連合保険料負担金が6666万円など。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●下水道事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、5億7791万1千円とするもので、前年度と比較して2020万5千円、3・6%の増

主な内容は、歳入では使用料が1億8072万円、一般会計繰入金2億6800万円、村債(平準化債)が1億

1000万円など。

歳出では公債費が4億7026万5千円。浄化センター長寿命化計画調査が1000万円、東部農排統合実施設計が1500万円など。

問 浄化センターの長寿命化計画の内容は。

答 国交省の施策で、計画をたてて予算化しないと補助対象にならず、寿命の目安は電気設備は10年から20年、施設は15年、建物は50年を想定しています。

問 加入率は。

答 水洗化率は22年度末で75・4%、個人住宅で区域外からの加入が増えています。区域内で最も低い地域の加入率は38・4%だが、ほとんどが営業施設で浄化槽を持っていてためです。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、3602万円とするもので、前年度と比較して2万8千円、

0・1%の増。

主な内容は、歳入では使用料が852万8千円、一般会計繰入金で2500万円など。歳出では公債費が2639万5千円、維持管理費が950万円など。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

水道事業会計予算

損益勘定では、収益は2億9154万1千円、費用は2億9057万3千円で96万8千円の経常利益を計上。

資本勘定では、収入は4669万9千円、支出は1億3727万8千円で、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額、9057万9千円は、損益勘定留保資金等で補填。

問 自動検針の件数は。

答 23年3月末で水道加入件数は5309件。そのうち自動検針は2337件で44%。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

総務社会委員会

山小屋改修等に9年間で4700万円

白馬村八方体育館の指定管理者の指定

財団法人八方振興会で、指定期間は平成24年4月1日から29年3月31日。八方体育館の設置条例にある指定管理者による管理ができるという規定による。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

白馬村辺地対策総合整備計画の策定

白馬村の辺地は、内山、嶺方・南方、青鬼・通、落倉・立の間、野平の5辺地。それぞれ5年間で、内山は観光レクリエーション施設の整備事業と村道1001号線の改良事業に6060万円、うち5860万円は辺地対策事業債を活用、嶺方は村道1033号線他改良事業に1000万円の辺地債の活用、青鬼は村道3

041号線他改良事業に300万円の一般財源の活用、落倉は村道3101号線改良事業に1億3600万円の辺地債の活用、野平は村道3038号線の舗装新設事業に100万円の一般財源の活用を計画。

問 一般財源を活用する事業計画も総合計画に載せるのか。

答 辺地債を起債する計画だけでなく、辺地の整備計画全部を載せます。

問 計画の立て方は。

答 地元要望、緊急性など様々な面を考慮します。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例

昨年スポーツ基本法が制定され体育指導員をスポーツ推進委員に、また学校外部評価委員を学校関係者評価委員に改める名称の変更。さらに社会福祉推進委員及び食育推進

会議委員を新たに設けるもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

白馬村保育所設置条例の一部を改正する条例

保育園の定員を、3歳以上を150名（10名減）に、3歳未満を30名（10名増）に変更する。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4929万8千円を減額するもの。

税務課では、476万3千円の増額で、滞納者の財産整理調査中に滅失届がなかったために課税されていたものが3件発覚し、補填するもの。

スポーツ課では、2215万6千円の減額。観光レクリエーション施設の木橋工事の変更による減額。

住民福祉課関係では、78万円の増額で、国民健康保険事業特別会計繰出金の増。

問 観光レクリエーション施設の工事の変更内容は。

答

全面改修の予定であったが、既設のものが使用できた。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

**●白馬村国民健康保険事業
勘定特別会計補正予算**

歳入歳出それぞれ280万9千円を減額するもの。

事業費確定により減額するもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ17万3千円を減額するもの。

事業費確定により減額するもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

**●陳情第10号 平成24年度
税制改正に関する陳情**

毎年、税制改正に関し、政府、政党、関係省庁等に対して建設的な意見を提言しその実現を強く訴えていて、本年も平成24年度税制改正に関する

提言をとりまとめた。
意見経営環境が厳しいことは理解できるが、財政状況から

税率を下げることは難しい。
意見法人税割額の超過課税は小谷村を除き大北市町村で採



福祉現場の「カナメ」 白馬村社会福祉協議会

用している。

意見国の動向もあるため一部採択すべき

▽委員多数の賛成により一部採択すべきものと決定。

●陳情第12号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

特定建築物及び公共建築物の耐震診断と耐震改修について早期に推進していただきたい。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●陳情第2号 国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情書

政府に対し、消費税増税反対の意見書を提出していただきたい。

意見民主党の中でも意見が割れている。タイミングが問題である。

意見すべてに納得できる内容である。

意見もう少し検討が必要
▽委員多数の賛成により継続すべきものと決定。

産業経済委員会

除雪事業委託料に
2000万円追加増額

●白馬村グリーンスポーツ・夢白馬施設・山小屋の指定管理者の指定について

平成23年11月14日から12月28日まで一般公募を行な

い、白馬村振興公社の一社のみ応募があった。平成24年1月に、3名の外部審査員と、庁内の課長（公社の理事 評議員を除く）5名で審査をした結果、審査員全員の賛成により、白馬村振興公社を候補者と決定。指定期間は平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間。

問 外部審査の構成メンバーは。

答 区長会長、婦人会長、商工会事務局長です。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村オリンピック記念館の指定管理者の指定について

平成23年3月まで白馬村観光局に指定していたが、同一敷地内にあること、維持管理運営を行ううえで一体的に管理ができることから、ひき続き観光局に指定管理者として非公募で指定した。

期間は平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間で、建物の償還期間と借地期間の終了にあわせたもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●村営住宅管理条例の一部を改正する条例について

地域主権改革一括法による、公営住宅法の改正に伴うもので、単身入居も可能とする幅広い入居者募集を行うこととするために、今回の条例改正を行うことにした。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4929

万8千円を減額し、総額を歳入歳出予算それぞれ45億6894万3千円とするもの。

環境課では、塵芥処理事業が755万5千円減額で、内容は塵芥処理委託料209万9千円減（粗大ごみ集積場予算の不要額を減額するもの）、白馬山麓環境施設組合負担金363万6千円減、ごみ集積場設置補助金175万9千円の減。クリーンコスモのし尿処理事業が521万4千円の減。

観光農政課では、観光局負担金240万円減額（職員退職）、観光振興負担金30万円の増額（商工会の元気づくり支援金の負担金）、海外観光客受け皿整備事業134万4千円減額。商工振興費300万円減額（住宅リフォーム補助事業実績による）。現年発生林道施設災害復旧事業は設計変更などで226万7千円減額。

建設水道課では、道路維持補修事業に400万円の増額、除雪事業委託料に2000万円の増額（2月の降雪量が多かったなどによる）、原材料費92万円増額（塩カルなど）、道

路新設改良費1504万円の減額、現年発生公共土木施設災害復旧費311万4千円の減額（青鬼、菅下などの入札差額）。

問 ごみ集積場設置補助金の減額理由は。

答 予定していたほど設置がなかったためです。

問 住宅リフォーム資金補助金は住宅のみの補助か。

答 同一敷地内であれば車庫 土蔵 造園なども対象になります。

問 道路新設改良1504万円減額の内容は。

答 八方口歩道新設が降雪のため約700万円の減工、白馬町の舗装新設用地交渉の未解決などで約800万円。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●下水道事業特別会計補正予算

繰越金の年度未補正するもので、使用料を666万6千円減額し、繰越金を同額増額とする。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●農業集落排水事業特別会計補正予算

繰越金の年度未補正するもので、使用料を10万9千円減額、繰入金金を100万円減額、繰越金を110万9千円増額するもの。

▽委員全員の賛成により原案

どおり可決すべきものと決定。

●水道事業会計補正予算

水道事業収益を520万円減額。内訳として、水道使用料500万円減、資材売却20万円減額。水道事業費用として1072万円の増額。内訳として営業費用の配水及び給水費を203万5千円減額（主に職員給料など）、原価償



指定管理者の指定（冬のグリーンスポーツ）

却費として110万円増額、資産減耗費1010万円増額（固定資産除却費）、営業外費用1555千円増額（ほぼ消費税分）。

資本的収入1650万円の増額。内訳として負担金150万円の減額、企業債として借り入れが1800万円の増額。資本的支出として企業債償還金1835万9千円。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●陳情第11号 最低制限価格の設定に関する陳情

公共建築物の設計、工事監理業務等を入札により発注する場合には、県と同様に発注予定額の85%程度の最低制限価格を設定してもらいたい。

意見 国、県からは最低制限価格について推進の要請は来ている。

意見 一定の品質を確保する意味で必要ではないか。

意見 前回の陳情は平成22年12月17日付けで不採択だが、将来に向けて検討していく時ではと理由がつけられている。

意見 近隣自治体などの動向も

見ながら、さらに審議を重ねてから結論を出すべきでは。

▽委員全員により継続審査すべきものと決定。

●陳情第1号直轄事業の継続と適正な維持管理・地元建設業への支援を求め陳情書

国の公物管理の機能確保などは連続的かつ広域的に対応することが最善であり、引き続き国が行うべきであると考える。緊急的な災害復旧が困難な地方自治体への支援は、国が行うことで、より速く確実に対応することができると考える。

長野県全域の防災支援を担う国土交通省北陸地方整備局及び管轄する松本砂防事務所、同姫川出張所をはじめとする各出張所の存続は、不可欠であると考える。

討論 国として防災対策災害対策体制強化面がまとめられている、国と協力して責任を明確にして進めるべきと考え賛成である。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

ごみ処理特別委員会

●平成24年 陳情第9号 ごみ処理広域化の是非を再確認することを求める陳情

広域及び単独処理について改めて各市村において、住民参加により検証、議論し、合意を形成すること。飯森・三日町の頓挫の理由を住民参加により、点検し報告すること。住民に情報を開示して、十分な説明の機会を設けること。

意見 広域及び単独処理についてのメリット、デメリットは、住民参加の中で、既に十分検証、議論し、広域を進めることと決定されている。現状では、既存施設の維持・修繕費の負担が大きく、一日も早く新施設を建設すべきである。

意見 広域では、飯森の反省から三日町の選定に際しては、住民参加の中で、時間をかけて全ての情報を開示し、十分な検証、議論をしたうえで進めてきたものと認識している。



白馬山麓環境施設組合 清掃センター 4月25日

意見 情報の開示については、今までもやってきているが、今後もこれまで以上に努めていくべきである。

意見 住民説明会では、毎回同じ人が出席していた。今後は大勢の人の出席を求めていくべきである。

▽委員全員の反対により不採択にすべきものと決定。

意見 住民説明会では、毎回同

● 3月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
村道上の事故に係る損害賠償の専決処分報告	【報告事項】
北アルプス広域連合規約の変更	可 決 (賛成全員)
中信地域町村交通災害共済事務組合規約の変更	
八方体育館の指定管理者の指定	
白馬村グリーンスポーツ、夢白馬施設、白馬村山小屋の指定管理者の指定	
白馬村オリンピック記念館の指定管理者の指定	
辺地対策総合整備計画の策定	
長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定	
特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例	
税条例の一部を改正する条例	
公民館条例の一部を改正する条例	
図書館設置条例の一部を改正する条例	
保育所設置条例の一部を改正する条例	
村営住宅管理条例の一部を改正する条例	
平成23年度 一般会計補正予算 (第5号)	
平成23年度 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	
平成23年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	
平成23年度 下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	
平成23年度 農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)	
平成23年度 水道事業会計補正予算 (第2号)	
平成24年度 一般会計予算	
平成24年度 国民健康保険事業勘定特別会計予算	
平成24年度 後期高齢者医療特別会計予算	
平成24年度 下水道事業特別会計予算	
平成24年度 農業集落排水事業特別会計予算	
平成24年度 水道事業会計予算	
村道路線の認定	
平成23年度 一般会計補正予算 (第6号)	
直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書	
地下水等水資源の保全に関する法整備を求める意見書	
固定資産評価審査委員会委員の選任	同意(全員賛成)

● 陳情等文書 ●

(敬称略)

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
大町のゴミ問題を考える会 会長 太谷 優子	大町市	ごみ処理広域化の是非を再確認することを求める陳情	ごみ処理 特 別	不採択 (全員反対)
社団法人大北法人会 会長 松下 睦治 白馬支部長 太田 勝	白馬村	平成24年度税制改正に関する陳情	総務社会	一部採択 (賛成多数) (反対:小林)
長野県建築士事務所協会 会長 新井 典夫 大町支部長 荒山 行雄	大町市	最低制限価格の設定に関する陳情書	産業経済	継続審査 (全員賛成)
長野県建築士事務所協会 会長 新井 典夫 大町支部長 荒山 行雄	大町市	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	総務社会	採択 (全員賛成)
国土交通省管理職ユニオン 北陸支部実行委員長 国土交通省労働組合北陸建設支部 松本分会分会長	松本市	直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める陳情書	産業経済	採択 (全員賛成)
北アルプス民主商工会 代表 種山 博茂	大町市	国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情書	総務社会	継続審査 (賛成多数) (反対:小林)

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う 安全で活力ある
村づくりをめざして



富山県朝日町議会との研修交流会 2月27日



未来に向けてスタート (しろま保育園卒園式) 3月23日

村政問題

問 公約の達成度は

答 財政は着実に目標を達成



太田 伸子 議員

【公約4本柱について】

問 財政の健全化の達成度は。

財政の健全化として、19年度9億円余りあった公債費が22年度には7億6000万円余りになり、起債残高も19年度70億1800万円が22年度には60億6200万円に減少、実質公債費比率も23年度決算には18%を下回る見込みとなり、着実に目標を達成しています。財政調整基金・減債基金は、基金取り崩しを始めた14年度の基金残高を6000万円余り上回る9億6600万円余りになり

ました。その他の特定目的基金でも3億8000万円余りの積立を行い、基金積立も目標を達成しています。

問

観光の活性化の達成度は。

村長

白馬の知名度を上げるため観光客の動向に影響



貴重な観光資源 姫川源流 4月24日

域への働きかけが少し足踏みしている状況です。

【スノーハープ

利活用について】

問

土壌の状況は。

村長

排水が悪く悪臭により、良い環境で使用していただけません。抜本的な排水・悪臭対策・南北高低差の解消を講ずる必要があります。

問

グリーン期の観光施策として「スポーツ観光の充実」を考えるつもりは。

村長

グリーン期の観光客数がウインター期を上回る状況になってきており、冷涼な自然環境を生かしたスポーツ合宿を誘致する「スポーツ観光推進会議」を立ち上げ、検討を始めました。

【ゴミ処理施設について】

建設候補地の選定は。

問

村長

広域連合としては、地区の手あげ方式を考えています。

村長

15歳までの医療費無料化、保育料の引き下げ

問

社会福祉・教育施策の充実の達成度は。

ケールテレビ白馬が開始されており、地デジ対策の成果としてあげられます。村民が主役の行政運営では、皆様のご意見を伺い反映すべく努めてきましたが、要望も多様化してきている中でまとめ上げる難しさを実感しています。

問

身近な村政の創出の達成度は。

村長

ケールテレビ白馬が開始されており、地デジ対策の成果としてあげられます。村民が主役の行政運営では、皆様のご意見を伺い反映すべく努めてきましたが、

ながの子育て家庭優待パスポート事業の開始など安心して子どもを産み育てられる環境整備に努めてきました。教育施策では、行政区のない地

活性化策

問 雇用と定住者の確保策は
答 観光振興を図り、新規起業を



太田 修 議員

【活性化施策について】

問 雇用と定住者の確保策は。

村長 観光振興を図り、雇用や定住につなげ、観光と農業を活かした特産品開発等の起業家や新規就農者の確保に取り組みます。

問 村有や民間の体育施設の一本化は。

村長 1カ所での受付は利用者にとって大きなメリットと考えますが、過去に民間各社と調整しましたが、利害関係等により実現しませんでした。



スノーシュー 自然に抱かれて仲間の絆

問 インバウンド事業での安全面や宣伝方法は。

村長 安全面では、防災ガイドマップを作成し、3

月中に全戸配布します。5カ年計画で、村内統一デザインの避難所案内看板を設置します。エリア・メールサービスの開始により、防災行政無線の補助的な位置づけで、4月からN.T.T.ドコモの携帯電話で災害・避難情報を発信します。

原発関係では、空間放射線量を測定し、ホームページに掲載します。宣伝関係では、県観光部は新興国市場を中心にシンガポールへの駐在員の派遣や観光関係者を招へいしており、県とともに安全・安心のPR活動を実施しています。

問 村振興公社の公益的事業への強化は。

村長 公社自体公益性が高い組織であり、運営方法や組織の在り方等について平成24年度より改革に向けて取り組めます。

問 岳の湯の利活用は。

村長 耐震診断結果に問題がなかったことから、検討委員会、庁内会議等に諮りながら結論を出し、財政状況を勘案しながら対応します。

【滞納金徴収方法について】

問 長野県地方税滞納整理機構の効果と継続は。

村長 平成23年度は6月から1月末の間で3238

万円の徴収実績です。平成24年度の移管件数は20件で大口滞納者を予定しています。

問 地方税滞納整理機構体制と人事派遣は。

村長 17名の職員構成で、県から3名、市から11名、町村から3名です。当村からの派遣は、依頼により24、25年度の2年間で1名の予定で

問 自主納付制度への移行理由は。

村長 従来の徴収方法では、「高額な滞納者でありながら、少額な納付で納税している気持になる」「滞納を完納するための有効な納税相談ができない」「少額分納により滞納処分が滞る」、「滞納者に対し集金の便宜を図る」等の意見がありました。納税は憲法で定められた国民の義務であり、自ら納めなければなりません。

福祉問題

問 通所介護施設の減少に対しては

答 社協で開所実現に向けて模索中



篠崎 久美子 議員

【高齢者福祉について】

問 村内通所介護施設が1力所閉所にするに際し

どう対応したか、また今後の通所介護をどう考えるか。

村長 特に対応はしませんが、現状対応はしましたが、現在開所できるところを探しており、社協でも開所実現を模索中です。

問 介護保険法の改正を受け、在宅介護の今後の方向性と新たな取り組みは。

村長 介護保険にないサービスや、地域での共助などを検討し、できるものを速やかに実現し、現在実施中のサービスの充実にも努め、福

祉をよりよいものにしていきます。

確かな部分もあります。

【下水道受益者負担金条例について】

問 同条例第11条第3項にある負担金から分担金

への賦課替えの法的根拠は。
建設水道課長 滞納の増大や、差し押さえなどをして

こなかったことに対処するため、都市計画法上では問題がありませんが、地方自治法の負担金徴収規則を根拠として制定された条例と思われま

問 分担金への賦課替えが時効前の3年であること、金額が負担金の1.5倍相当となる根拠は。

建設水道課長 支払った人との不公平感を解消するよう、

税の滞納時の年利率と同じ14・6%の5年分に近いものの上乗せしたものと解釈していますが、古い条例のため不

【人口減少と定住化策について】

問 人口減少に対する結婚、出産、育児への新たな支援策は。

村長 新しい支援策は持ち合わせていませんが、担当課に提案を求めているところです。

問 定住促進のための一つの対策として、雇用や起業に対して支援する考えは。

村長 村単独では考えていませんが、事業主や農業就農者へは、国の支援が実施されるよう努力します。

【雇用創出関係基金の活用について】

問 他自治体で補助金の不正受給が指摘されたが、緊急雇用創出基金などの活用事例は。



在宅介護の主役の一つ 白馬村デイサービスセンター 4月25日

村長 平成21年度から23年度までで14事例、補助金額は6460万2千円になります。

問 活用時に規定されている公募はどのような方法で行ったか。

村長 受託業者に委託したところも含め、全て公募

をしており、ハローワークや広報誌、ホームページなどを通じて適正に募集をしました。

問 県の全事業調査通知に対しての報告状況は。

村長 毎年提出している実績報告から、今回改めて調査書類を作成し報告を済ませました。

観光問題

問 観光の活性化は成るか

答 全村で歓迎する気持ちが大切



太谷 正治 議員

【観光全般について】

問 新民宿事業で新たに参加した民宿は。

村長 新民宿事業では、昨年12月に報告会を開催し、今

期はこの報告までを新民宿事業としており、新たに宿泊施設をモデルとして取り組んでいます。

問 「庄屋まるはち」の営業の途中経過は。

村長 契約を株式会社王滝としており、12月から2月まで3ヶ月間は対前年比2倍強という状況です。

問 山麓線の延長計画は。

村長 平川の橋梁は両岸に約3メートルの盛り土、右岸は47スキー場の駐車場を分断、左岸はみそら野地区の別荘や営業施設の移転が必要で、当面計画することは難しいです。

村長 白馬クロスカントリー

問 競技場改修事業について

村長 予定されている排水工事で、万全な状況になるか。

村長 メイン会場の排水工は、しっかり施工されていますが、長年の使用で表面の一部の砕石層が固まり水を通して見解もあり、今後調査研究をして工事をしていきたいです。

問 サッカーコートが1面減った場合の対応は。

村長 現状は、芝生の育成のためにサッカーは試合のみで使用制限し、1シーズン25日、5000人程利用者があります。芝生広場はサッカー専用

問 ではなく、サッカー・ランニング・距離スキー練習コースと多目的に使用できる広場として当面は継続使用します。

問 競技者が白馬で合宿するメリットは。

村長 スノーハープメイン会場とクロスカントリーコース5kmが隣接していることで、他の会場と違う練習環境ができると思います。

問 スノーハープは冬季の

村長 競技施設であり、また夏の賞観賞会等地域を上げ取り組んでいきます。陸上競技場は別の場所が良いのでは。

問 オリンピック開催会場

村長 で、村は数十億円をかけた施設であり、村有財産として有効活用するため、現況の排水悪臭、高低差等の改善が必要です。今後専門的な調査を行いましたと思います。

問 ごみ処理施設について

村長 ごみ処理場の決定は、地区の手あげ方式という



村内スキー場巡視（八方の索道事業者との懇談） 2月7日

村長 地元を理解を何より重視し、可能性のある地区と、地域の具体的な振興策などを話し合いで進めていきます。

問 区の手あげ方式という

村長 広報活動もしながら、地区単位で同意できる候補地探しを進めてまいります。

問 側面から援護すべきでは。

観光問題

問 グリーン期の誘客対策は

答 総合スポーツ合宿の聖地を目指す



田中 榮一 議員

【観光振興対策について】

問

冬季観光客が減少している現在、グリーンシーズン誘客に向けての対策は。

村長

スキー市場の減少傾向が激化する中、通年観光へシフトさせていくことは必然的なことです。グリーンシーズンの観光を推進する上で、今まで以上の良質なサービスの提供と、併せてソフト・ハード面の整備が急務です。このような状況の中で、新たな観光振興策として「総合スポーツ合宿と癒しの聖地白馬」をスローガンにスポーツツーリズムを展開したいと考



2012ジャパン・パラリンピック冬季競技大会（スノーハープ）2月19日

え、スノーハープ大規模改修を計画しました。

問

事業の推進にあたり主となる担当課は。

村長

施設整備の担当は教育委員会スポーツ課。ス

ポーツ合宿の誘客活動は、観光農政課、観光局が一体となり、私が先頭に立ちトップセールスにあたりPR活動に努めます。村の観光を冬から夏へ大きくシフトさせようと取り組むプロジェクトであり、関係各課の連携によりチーム機能を発揮させていきます。

問

構想実現のためには、村民との連携強化や積極的な情報公開を。

村長

実現には、住民の理解が一番大切であるとの認識にたち、「身近な村政の創出」という視点で取り組んでいます。今回のスノーハープ大改修には、白馬の観光再生の浮沈をかけて望むものであり、村民の皆様のご理解や、協働のもとに進めてまいります。

【防災対策について】

問

今年の1月に大規模災害を想定した防災訓練が開催されたが、訓練で得られた成果と課題は。

村長

成果としては、災害対策本部内の情報共有の方法、意思決定と支持系統を確認することができました。重要な情報が入った場合、情報の取得から共有、意思決定から対応策の実行まで、災害対応の一連の流れとその中で着目すべき点を確認できました。課題としては、刻々と変化する時々の状況、災害対応方針や見直しなど、住民が求めている情報の提供において課題が浮き彫りになりました。時間的制約もあり、住民の避難誘導と安否確認段階で訓練終了となり、住民の安全確保までできませんでした。

問

白馬村地域防災計画の見直しは。

村長

平成23年に発生した大規模災害等への対応において浮き彫りになった課題について、検証、検討し防災体制の見直し作業を進めてまいります。

水源問題

問 水資源を保全する条例整備は

答 市町村との連絡会議を経て



高橋 賢一 議員

【水源保全について】

問 県では、水資源の公有化に向け、取水目的の森林買収など状況に応じて市町村と保全連携を図りたいとしているが、法による土地利用規制は緩く、占有されたり取り戻すのは難しい状況になるが。

村長 国では「水循環基本法」の制定に向けて動き始め、県でも条例を設ける方向で検討していますが、地方事務所ごとに連絡会議を設けていくとのこと。

問 地下水は、土地所有者が権利を有する「私水」

であり、水源地に規制がかかっていないと、周辺の土地を含めて容易に買収、取水の対象となる。「公水」として保全し管理規制のための「地下水資源保全条例」が必要ではないか。

村長 地下水などの水資源を「公水」としていくかの議論から始めなければなりません。本村のような豊富な地下水は、積極的に使用する考え方もあります。広域単位での検討会議の議論を見ながら、考えをまとめていきたいです。

問 地下水の給水量が増えれば、水道の利用料が減り収益増にはつながらないと思うが、井戸水を使用している営業施設数と使用量は。

村長 現在井戸水を使用している営業施設は75軒、使用量は把握できませんが、井戸水を使用し下水道に流入している施設の使用量は年間

約9万トンです。

【工事分担金について】

問 村条例では、村において施工する工事に対して、特に利益を受ける者からその受益の限度において分担金を徴収できるとなっている。分担金の額については、工事金額から特定財源を除いたものに課するとしているが、受益の限度の基準と、特定財源とは何か。

村長 特定財源とは、その工事に係る国・県の補助金等がある場合はその額であり、対象事業の中から主に建設課で行う道路改良工事を対象として運用しています。

問 空間放射線量測定器について

【空間放射線量測定器について】

問 県下で観測された空間放射線最大量は、震災の4日後であったが、村で



貴重な水資源（二股浄水場付近）

は機器を固定して同一場所で測定するのか、データはどのように処理されるのか。

ンブ競技場などで月1回程度のペースで実施します。学校と保育園には直ちにその場で伝えます。

村長 機器を移動して測定します。運用については小中学校3校と保育園、ジャ

教育問題

問 文化の象徴・図書館施設の充実は

答 図書館整備は新築で検討する



小林 英雄 議員

【白馬村図書館問題 (つづき)】

問

村図書館の運営理念には、村民の暮らしを支援し、まちづくりに役立つ図書館を目指す。全国的に複合施設としての図書館が増えているが（ミュージアム、サロンなどの併設）、村長の考えは。

村長

複合施設は地域文化のシンボリックな施設として、地域社会の活力を育む効果が期待されますので、当然必要と考えています。

問

現在の施設は増改築か、新設するのか。また、調



木彫文化を支えた木彫センター（八方口） 4月25日

査・検討はどこまで進んでいるのか。

村長

増築等で解決できる問題ではなく、新築ということで進めていきたいと思っています。厳しい財政事情の下での財源確保の問題はありますが、第4次総合計画のおおき、図書館施設整備について調査・検討を行ってまいります。いたずらに先送りするわけではありません。

問

図書館協議会の開催回数を増やす検討は。

長教育

新たな機能を付加した図書館の展開を含め、協議会に調査・検討をお願いすることになります。よって、計画にある検討項目をクリアするために回数は増えることになると思います。

【木彫文化の再生について】

問

木彫の匠として知られる複数の方々が、その技量を発揮している。木彫文化の里づくりのため、現木彫センター（作業所）の地代などに対する助成は。

村長

現木彫センターは、昭和56年に村内の木彫作

家7名が白馬木彫連合組合をつくり、施設を建築し運営してこられました。現在教室の収入や会費を中心に木彫連合組合で運営されており、助成は考えていません。しかし、いろいろ経緯もあるようですので、組合の方と話す機会をつくりたいと思います。

問

作品展示場の新設または拠点づくりは。

村長

展示場の新設や拠点については、組合が必要としていないように聞いています。必要ということであれば、公共施設等の開放も考えたいと思います。

問

後継者育成のための助成は。

村長

組合の方が講師を務め、公民館の成人学級として木彫教室を開講しており、現在は木彫同好会15名の方が文化祭などにその成果を発表しています。若年後継者はなかなか育ちにくい状況ですが、白馬村の木彫技術は、愛好家を通じて脈々と受け継がれているものと思います。

財政問題

問 ※ 臨時財債に過度に依存していないか

答 借入が財政上有利な場合もある

(※ 臨時財政対策債)



松沢 貞一 議員

【財政運営について】

問 現状の健全性のレベルは。

村長 平成23年度決算数値では実質公債費比率が

18%を下回る見込みで、数字的には財政は健全であると言えます。しかし、公債費支出は平成24年度予算では6億7000万円余で、予算全体の15%を占めており、軽くなったとは言えない状況です。危機的な状況は去ったものの、他市町村に比較するとまだ公債費は高めに位置しています。



幻想的な一瞬 (奈良井地域)

問 今後の見通しについて。

村長 平成24年度は固定資産税の評価替えのため、

村税は6000万円余の減収見込みですが、課税標準額が減少する場合は普通交付税の増額要素になり、税収減が急激に財政を圧迫することはありません。また普通交付税は次回の国勢調査までは平成22年度調査人口で算定されるため、人口面でも交付税に大きな影響はないと見えています。財政規模も平成4年度頃に近くなっており、当時に比較して村税収入は減少しています

が、投資事業を計画的に行うことで健全な財政を維持していけると考えています。

問 臨時財政対策債は財政健全化の観点からは過度に依存しないほうが健全では。

村長 通常、起債とは社会資本整備を世代間で平等に負担するための手段として建設事業に充てられています。臨時財政対策債は交付税の財源不足を補填する目的で創設された起債であり、建設事業

以外の一般財源に充てられるもので、通常の福祉や維持管理などの行政サービスに充てることができません。後年度に元利分が100%交付税措置されるものであり、行政サービスの単年度負担の平準化や建設事業の一般財源分の世代間負担などができることを考慮すると、配分された額を借入したほうが財政上有利な場合もあると考えています。

問 限りある財源をより有効に活用するために絶えず事業の見直しや選別が必要と思うがどのように行われているか。

村長 3年間の実施計画を策定し、毎年これをローリングしながら事業を組み立てています。この計画は中・長期的な財政計画ともリンクしていますので、事業の取捨選択は厳格に行っています。

問 優先順位はどのように決めているか。

村長 村民要望の有無、費用対効果、特定財源の有無等を総合的に勘案して決定しています。

私の思い出



八方 丸山 敏夫

小さな丸太橋を渡り、西山通いをしたもので怖かった事を覚えています。

リーゼンスラロームコースは、福岡孝行先生と地元住民の手作りのスキー場です。

スキー場の刈払いは本当に重労働でした。動力の草刈機が出てきたのはずっと後の事で、大鎌と手鋸で広大なゲレンデを整備したのです。細野に七組、四ツ家に三組の十組で咲花、リーゼン、名木山のゲレンデを組み割りし、延べで七日間位の作業でした。朝八時頃から始めて、時には手元が見えなくなる時間までかかる事もありました。兎平は白馬観光開発の分担で、明大、早大、日大、白馬高などのスキー部員の仕事でした。彼等はその代償として、冬のリフト無料乗車を認められておりました。鎌や鋸は少し使うと切れなくなり、砥石と目立ヤスリは常に持参し、休憩時間には研がなければ、作業がはかどらないので、不器用な私には休む暇も惜しい労働奉仕でした。いま思えば良く働いたも

のですが、当時は当たり前前の事で、隣近所を含め地域全体の暮らしの一部だったので、何の疑問も持たずひたすら大鎌を振るう動作の繰返しでした。

後に草刈機が登場し、作業は嘘のように楽になりました。ゲレンデも補助金を受けて牧野改良し、牛を入れると、刈払い範囲が半減し苦労は昔話になってしまいました。

リーゼン大会は区民総出のお祭り行事でした。ゴールは、通称「ウジガミ」で父ちゃん母ちゃん達が赤飯を炊き、ご馳走を作ってゴールの周りに陣取り、出場したお客様や地元選手を応援し、劳らいました。大会の数日前から皆でスコップを手し、コースのコブ削りや、雪の少ない部分への雪や

といった大変な作業でした。もっと大変だったのは選手です。雪上車がなかった時代なので、信じられない事ですが自分達で踏み固めて登りながら、コースをならした時代でした。

後期高齢者と呼ばれる年齢になり、昔話をする事が無くなりましたが、住民手作りの八方尾根スキー場は私達年代の生立ちの軌跡です。

昭和十八年に小学校（当時は国民学校）一年生となり、最初のスキー大会が蔵平スキー場で行われました。今の蔵平の北側で大出の方に面したカヤバでした。白馬にスキーが伝わって百年になりますが、この頃は、大きなスキー場はなく、落倉スキー場とか咲花スキー場は当時からありましたが、どこもカヤバでした。

私達低学年は、横一列に並び、ヨーイドンでスタート。滑走距離は百メートルくらいでした。ちなみに運動神経の鈍い私は、ビリが定位置でした。この地域で最初（昭和十八年）に、林を切り開き人為的なスキー場を開発したのは、西山スキー場の先々代平林勝義氏でした。八方の子供は松川の流れに大人達が架けてくれた

の生立ちの軌跡です。

（訂正）89頁の「私の思い出」の中で、「昭和19年12月8日」とあるのは「昭和16年12月8日」です。お詫言申し上げます。

平成24年 第1回

白馬村議会臨時会

平成24年4月4日 開催

B&Gプール工事請負契約の締結について

●工事請負契約の締結について

▽契約の目的

平成24年度 B & G 海洋センタープール改修工事

▽契約金額

7875万円

▽契約の相手方

長野県北安曇郡白馬村大字北城12815番地
株式会社 山田工務店
代表取締役 山田 福市郎

○ 臨時議会 議決結果 ○

種別	議案番号	件名	議決結果
契約	議案第28号	工事請負契約の締結について	可決 (賛成全員)

特集 白馬議会だより 100号記念



私たちの白馬 唐松岳上空から白馬三山を望む 4月25日



私たちの白馬 空から見た、白馬村役場、各学校、白馬駅、ウイング21他 4月25日

「あいわじ」



議長 下川 正剛

議会報発刊100号を記念し、議会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年が過ぎました。亡くなられた方と行方不明者の方は併せて約1万9千人。さらに原発問題が発生し、未曾有の大災害となりました。亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々の一日も早い復興を願うところであります。

さて、白馬村も合併して五十有余年が経過し、山岳観光リゾート地として大きく発展してまいりました。今年、白馬村はスキー伝来100年の歴史を迎えます。平成10年には長野オリンピックが開催され、全世界にアルプスの街白馬をアピールすることができました。寒村であった白馬村を、観

光地としての礎を築いていた先人の方々のご労苦に、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

昭和62年議会報第1号が発刊され、全村挙げてオリンピック誘致活動の展開中との記事がありました。以来先輩議員の皆様や、村民の方々の協力をいただき記念すべき100号を迎えることができましたことに、感謝を申し上げます。

我々議員も村民の代表であることに自覚を持ちながら、議会の活動状況や審議内容を、村民の皆様と正しく詳しくお知らせし、理解をいただく重要な役割が「議会だより」です。昨年、区長会・老人クラブ・婦人会・商工会等の諸団体と懇談会を開催し、皆様方の声を積極的に村政に反映するよう努めているところであります。

今後とも議会に対して更なるご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

議会報発刊 100号に寄せて



白馬村長 太田 紘熙

昭和62年に創刊号を発刊して以来、年4回の議会報が本年3月で100号という大きな節目を迎えたことは、誠に意義深く、ご同慶に堪えませぬ。歴代の編集委員の皆様のご努力に、敬意を申し上げます。

この25年間に、我が国の政治、経済共に大きな変革をいたしました。半世紀にわたる自民党政権が崩壊し、2009年民主党政権が誕生したものの、内政外交ともに不透明な状況が続いております。

地価高騰に始まったバブル景気と、スキーブームの到来は、我が村のスキー観光に大きな恩恵をもたらし、1998年の長野冬季オリンピックのスキー競技のメイン会場地となり、その名前は世界に向

けて発信されました。村民は、オリンピック後のスキー観光に大きな期待をしましたが、80年代後半からのバブル景気は去り、期待したオリンピック後の景気回復の兆しはうかがえたものの、サブプライム問題、リーマンブラザーズの経営破綻、ユーロ圏の信用不安に加え、3月11日の東日本

住民の考えを反映できる、住民参加型の議会活動が望まれる時、議会報は住民と議会との関係づくりに極めて重要な役割を持っています。創刊100号という節目を契機に、さらなる情報公開に努め、充実した議会報としていただくことを期待し、お祝いの言葉といたします。

大震災による放射能汚染の問題で、海外からのお客さまはその後急激に減少傾向を示し、スキー観光は大変厳しい時代を迎えています。

こうした厳しい社会情勢と相まって、村民の行政、議会に向けた目的は厳しいものがあります。



議会本会議での村長と議長 3月6日

白馬村議会だより 100号によせて



昭和62年副議長
矢口 幸利

白馬村議会だより、第100号、誠におめでとございます。私が副議長職であった昭和62年のとき、議会の内容を広く村民に良く知っていただくために、議会報を発行することになりました。

全員協議会で何度も協議を重ね、同年9月15日付ユートピア第1号として発刊に踏み切ったと思います。

以降歴代の議員の皆様のご努力により、今回発行誌が第100号とお聞きし大変嬉しく、また、今思えば村民に親しまれる議会報になって、本当に喜ばしく思います。

今後も村民に親しまれ、喜んでいただける議会報誌になるよう願っております。

白馬 議会だより

第1号 昭和62年9月15日発行

発行：長野県白馬村議会 編集：ユートピア白馬委員会 〒386-0101 長野県白馬村 電話：0261-72-6000

第1号 昭和62年9月15日発行

第18回冬季五輪開催 都市決定を振り返る



平成3年議長
武田 豊

白馬村議会だよりを輝く情報誌に立派に育て上げて、100号発刊にいたしました。偉業に心から敬意とお慶びを申し上げます。

この度、1991年6月15日第97回IOC総会で、第18回冬季五輪開催都市「シティーオブ長野」決定への思い出のテーマをいただきました。

勝利の瞬間の歓喜と全身が震えるような感動でした。IOC委員88名の投票結果は、過半数決定まで5回目の投票は46対42で、ソルトレークシティと僅小差での勝利でした。当時は世界経済も好調で日本は正にバブル期にあり、吉村午良招致委員長のもと、県や国をあげて招致運動は熾烈を極めました。投票結果を

見ると、競技会場地白馬村が果たした役割の大きさが見えてきます。日仏開催のJIFAS映画祭であり、昭和61年横沢村長のもとで冬季オリンピック招致成功を見据えると同時に、国際的地歩を固めるべく西洋文化のメツカ、フランススキー本部を置くアヌシー市と提携して「冒険とスポーツ映画映像祭」を相互開催に合意。平成2年10月西沢村長就任と共に引き継がれ、平成3年の5月塩の道祭りに併せ、開催都市決定に村民挙げて盛り上げ、翌月バーミングガム長野招致決定に大きな弾みをつけました。

白馬 議会だより

第17号 平成3年10月15日発行

発行：長野県白馬村議会 編集：ユートピア白馬委員会 〒386-0101 長野県白馬村 電話：0261-72-6000

第17号 平成3年10月15日発行

人口9千人の村ながらアヌシー市と対等に渡り合えたのは、代々優れた首長のもと村民こそってボランティア精神に徹し、支え合い大イベントを見事にこなし、村の発展に偉大な貢献をしたものと信じて疑いません。

天恵を頂いた大自然の妙なる演出は、招致の実現に向かって絶大な自信を与えられたもので、4ヶ月後の冬季オリンピック招致成功に大きな力になったことだろうと確信しました。

感動の長野オリンピック
パラリンピック



平成10年副議長
上川 博史

白馬村議会だより発刊から今号で第100号になり、この度の記念増補版の発行を心よりお祝い申し上げます。

長野オリンピック、パラリンピックが平成10年に大成功のうちに終了してから早いもので、多くの感動が脳裏にあるも、その中から何を書いたらいいのか迷います。招致の始まりは初代村長、太田新助氏の頃より苦節40年、



第44号 平成10年 4月30日発行
7位入賞の場に出掛け、うと飯綱会を応援し、村愛子選手を応援し、滑降スタート地点の八方尾根上部や、モーグル競技の上村愛子選手を応援し、7位入賞の場に出掛け、うと飯綱会を応援し、村愛子選手を応援し、

長い年月伝授され、イギリス・バーミンガムでの決定の瞬間までの忍耐と感動を、日赤病院にてテレビ速報を見て、早速白馬に戻り、留守番役議員として、狼煙の準備を整え村民への祝砲を打ち上げました。

平成10年2月の開催に向け、心配された八方尾根のスタート地点や、ジャンプ台線の借地契約等、施設整備完了のために行政側の連日のご労苦で、期日までに準備万端整い、本番に向かうことが出来ました。ジャンプ・ラージヒルで金メダルに輝いた選手(原田、岡部、斉藤、舟木)の団体優勝の際は、雪の降り続く中でチアホーンでの応援や、写真を撮ったりしました。また、他競技選手の様子を一目見たいと、

大活躍を祝福し、皆で記念写真を撮った時の感動は今でも思い出となっています。3月開催のパラリンピックでは、丸山直樹選手の応援に志賀会場に向き、コース中間地点で声援を送りました。また、野沢会場でのバイアスロン出場の小林深雪選手(伴走者:中村由紀選手)など、期間中テレビ放映に釘づけて、感動の連続でした。開催地としての感動を宝として、子孫に伝えていきたいものです。

白馬議会だより第80号
全国コンクールに入選



平成19年議長
下川 辰男

白馬村北城大出に整備を進めていた都市公園「大出公園」の開園式が、平成19年4月19日に現地で行われました。同地域は清流や、かやぶき屋根の風景に吊り橋の向こうに白馬三山を望む絶景スポットと

して観光客に人気があり、周辺整備が強く望まれていました。村は平成14年から事業を開始し、18年に完成した。

姫川の吊り橋の架け替え、トイレ、水車小屋等を設置し、北アルプスを背景に田舎の原風景を目で楽しめるようにしました。又、近くの古民家を改修し、地域住民の交流を図る「かっぱの館」やグリーンスポーツ施設に連なる自転車道なども作りました。開園式には村関係者、村議、近隣住民ら約80人が参加し安全祈願祭や鏡割り等が行われました。

太田紘照村長は、「姫川や景観と融合した公園造りを進めてきました。観光立村の中で平地観光の一翼を担う施設と、地元住民が集い語らう場所として利用していただければ」とあいさつをしました。そして開園を祝ってのアトラクション、地元大出の老人クラ

ブや婦人会員による「白馬小唄」などの踊りを披露し盛大に式典を祝いました。その、大出おどりの会の人達の年を感じさせない笑顔いっぱいのスナップ写真が入選したのです。

平成20年2月29日、長野市で長野県町村議長会定期総会で表彰を受けました。全国から応募された何百という作品の中から、県下でただ一つ白馬村が受賞したのです。「元氣あるおばあちゃん達の笑顔が雪国のきびしさを忘れさせてくれる、すばらしい作品である。」というお言葉をいただきました。第100号記念誌に入選したときの「思い出」を掲載していただいた事に対し深く感謝を申し上げます。

平成20年2月29日、長野市で長野県町村議長会定期総会で表彰を受けました。全国から応募された何百という作品の中から、県下でただ一つ白馬村が受賞したのです。「元氣あるおばあちゃん達の笑顔が雪国のきびしさを忘れさせてくれる、すばらしい作品である。」というお言葉をいただきました。第100号記念誌に入選したときの「思い出」を掲載していただいた事に対し深く感謝を申し上げます。



第80号 平成19年 5月2日発行

夢、私たちに。 わたしのひとこと



二つの出来事から考えたこと

みそら野 石原 綾子

38年前に白馬の住民となりました。まだ国道は未舗装でしたが、右肩上がりの若々しい村でした。今、村の疲弊を嘆く声が大いの中で、多くの魅力的な村民の知恵が活かし切れていないことを痛感します。

夢のようなイベントを思い出します。天神の湯のロビーに、錚錚たる漫画家たちのイラストが展示されています。もう35年も前、白馬村に「マンガ王国」が誕生した証しです。人気の漫画家たちの仮装パレード。白馬館は展示会場に開放。作品の路上展示、八方グレンデには雪男の大きな足跡。駅前広場の愛らしい「馬」のモニュメント。彼らの発想のユニークさは、白馬村の新境地を全国にPRし活気づけました。

また飯山の「高橋まゆみ人形館」を訪ねた折り、人形の表情の源が白馬の木彫作家だと知り、考えさせられました。かつて農民芸術として、寒村を文化的に目覚めさせた木彫家たち。その存在と作品を一堂に展示し、村全体で大切にすべきではと。

誘客を模索し、各地域やグループの活動は素晴らしいのですが、全体の抛り所がほしい気がします。村民が誇りに思う村は自然に人が集まってくるはず。若い世代の提案（発想）に期待します。



いっぺんやめてみたら？

飯田 清水 肇

時期なのか、区の役員、PTAなど様々な役につくことが多くなりました。最近思うのは「それ、いっぺんやめてみたら？」ということ。もちろん仕事でも同じ。1年こっきりの任期にあって、前年踏襲、平穏無事が一番簡単。新しい事を始めるのも実は簡単。やる気あるんですもの。ところがやめるって事になると、とっても労力がある。まず、なんでやめるのかきちんと説明しなけりゃいけない。それに「始めた人に悪い」とも思う。「計画に、もう載っちゃっているし」ってこともある。また、やめることで、自分も含め誰かの収入が減るかもしれない。

でも、取り巻く状況はずっと早いスピードで変化している。昔のシステムではついていけないことも多々。もちろん本線の一番大事な骨の部分に残さなきゃいけない。そこは大事。だけど、筋肉だと思っていたものが、いつのまにかぜい肉ってことはありませんか？



私のストレス解消法

塩島 塩島 吉典

異常気象と騒がれるようになり久しいが、今年も正に異常気象である。4月に入っても気温が上がらず、毎日のように雪が舞い、今までにない残雪である。我が家の周りも1メートル以上残っているところもあり、農作業の時期になってきたが、いつできるようになるか心配だ。

家も、勤めながら田畑を作る日曜百姓をしている。「勤めながら農作業をするのは大変でしょう。」とよく言われるが、人に言われるほど自分では大変に思わない。なぜなら、この日曜百姓が私のストレス解消であるからだ。一人で何も考えず身体を動かし適度の汗をかく。たまには妻に手伝ってもらい、時には子供の手を借り、自分の思い通りにやることこそストレス解消が一番いい。

ただ、平日仕事で帰りが遅く、休みは朝から農作業に出て自分の都合でまわっているため、家族との時間が取れないことが気になっている。子供たちには「うちって家族旅行したことがないね」と言われている。

編集後記

議会だよりがめでたく100号を迎えました。定例会毎の発行ですので、年に4回25年で100号となったわけですね。これまでの先輩議員の皆様のご尽力に心より敬意を表します。

私たちの任期も残すところ1年となりました。なかなか忙しい議会活動ですが、村政の課題や議会の状況を村民の皆様にお知らせする機会はそれほど多くない中で、この議会だよりは大変に有効な手段です。それだけに編集については、内容はもちろん、一字一句まできちんと検討し責任を持って発行しています。議会と村民の皆様を繋ぐ貴重な媒体として、今後も内容の充実した議会だよりにしていく決意です。（松沢 貞一）

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 太田 修 |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 松沢 貞一 |

白馬議会だより 100号
平成24年4月27日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈲北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.willhakkubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@willhakkubal.jp